

瀬戸

〈瀬戸焼〉染付花唐草文蓋付壺
加藤奎左衛門（明治時代）

美濃

〈西浦焼〉釉下彩草蒲図花瓶
五代 西浦圓治（明治時代後期）

常滑

〈常滑焼〉朱泥龍図花瓶
龍工組（明治時代中期）

萬古

〈萬古焼〉上絵菊図花瓶
川村又助（明治34年頃）

明治・大正時代の 超越した 陶磁の美

— 瀬戸・美濃・萬古・常滑 —

2023. 10.27 [金] ▶ 2024. 1.28 [日]



公益財団法人

横山美術館

名古屋市東区葵一丁目1番21号

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休 館 日】毎週月曜日（祝・休日の場合開館、翌平日休館）

年末年始（2023年12月28日～2024年1月4日休館）

【入 館 料】一般1000円（800円）、高・大学生・シニア65歳以上800円（600円）

中学生600円（400円）、小学生以下無料 障がい者手帳をお持ちの方700円

（ ）内は20名以上の団体料金

【後 援】愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

瀬戸



〈瀬戸焼〉
染付金彩
磁胎七宝花鳥図花瓶
初代 川本樹吉
(明治時代前期)

明治・大正時代の 超越した陶磁の美

愛知県の瀬戸焼と常滑焼、岐阜県的美濃焼、三重県の萬古焼。これらは東海三県で生産される、それぞれに魅力あるやきものです。明治時代にはこれらの輸出が盛んとなつて、従来とは異なる技法や装飾も発達しました。瀬戸では伝統ある染付磁器の制作に加え、他産地への上絵付用磁器素地の供給も行います。常滑では鉄分を含む土を赤く発色させる「朱泥」の陶器に、立体的な装飾を貼り付けて輸出しました。瀬戸と同一視されがちだった美濃では「美濃焼」というアイデンティティが生まれ、アール・ヌーヴの流行を受けた優美な釉下彩の技法も花開きます。萬古焼は灰色の陶器に色鮮やかな釉薬や化粧土をまとい、四日市港を活用して販路を海外へ広げたのです。本企画展では明治・大正時代を中心に、瀬戸・美濃・萬古・常滑で発展した特色ある美の競演をお楽しみいただきます。

萬古



〈萬古焼〉
兎置物(明治時代)



〈萬古焼〉
青釉上絵花図輪花鉢
森有節
(明治時代前期～中期)

常滑



〈常滑焼〉
朱泥盛上草花図花瓶
四代 伊奈長三
(明治時代後期)



〈常滑焼〉
朱泥雲鶴図花瓶
二代 杉江寿山(明治時代中期)



〈西浦焼〉
釉下彩松鶴図花瓶
五代 西浦圓治(明治時代後期)



〈美濃焼〉
染付牡丹木蓮図水指
加藤五輔(明治時代前期)

美濃

関連イベント

作陶体験講座「ほほ笑みのお地蔵さんづくり」

土の風合いが心なごむ、かわいらしいお地蔵さんを制作するワークショップです。

- ◎日時:2023年11月26日(日)13:30~15:00
- ◎講師:小池 正氏(常滑焼 陶人形作家) ◎定員:20名(要事前申込)
- ◎申込方法:10月27日(金)よりお電話にて先着順(一般に先立ち、パスポート会員の先行受付あり)
- ◎参加費:一般3,800円(材料費・焼成費・入館料込み)、パスポート会員2,500円(材料費・焼成費込み)



小池 正氏

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

11月4日(土)、11月18日(土)、12月2日(土)、
12月16日(土)、1月6日(土)、1月20日(土)

- ◎場所:美術館展示室
- ◎時間:13:30より1時間程度
- ※事前申込不要、要入館料



年間パスポート会員募集中!
年会費4,000円(更新3,000円)

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。



公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<https://www.yokoyama-art-museum.or.jp>



次回企画展

「奇想の輸出陶磁器
隅田焼の世界
—SUMIDA WORLD—」展(仮)
2024年2月9日(金)~
5月12日(日)

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅(1番出口)徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅(3番出口)徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



100円割引
※本企画展開催中、この割引券の特典の
有効期限は2024年12月28日
他館利用不可